

PSP

https://www.psp.co.jp

BOOTH

No.

B2-09theme... **コンポーザブル PACS ～多岐にわたるニーズに、バラエティに富んだ提案を～****主な展示製品**

- PACS
「EV Insite net」
- 読影用ビューアソフトウェア
「EV Insite R」
- マンモグラフィ用ビューア
「EV Insite M」
- レポート作成ソフトウェア
「EV Report」
- 検像システム
「EV Confirm」
- 症例ファイル管理システム
「EV Palette」
- 放射線業務管理システム
「ARISation」
- 医療被ばく線量管理システム
「ARISation iSED」
- 医療機器管理システム
「ARISation iMED」
- 放射線治療管理システム
「ARISation RT」
- 統合検査情報システム
「EV Portal View」
- 地域連携システム
「EV Portal View Plus」
- クラウド型サービス
「CirA-S」
- タブレット緊急画像参照
「Insite Pad EM edition」



PSP は、臨床現場に近い立場で PACS、RIS、所見作成システムなどの開発・導入・保守を行っている。現場でどのようなニーズがあるのか、どうしたらユーザーの負担を減らせるのかを常に考えシステムに反映させてきた。ITEM2021 では PSP のこれまでの経験をもとに開発された最新の製品群を展示する。

- PACS
「EV Insite net」

PACS 「EV Insite net」は院内の画像管理の中心として、全国 1000 以上の施設で活用されている。施設によって、病床数をはじめ、モダリティ数、画像枚数等は異なり、PACS ベンダーには施設ごとにあった柔軟な提案・対応が求められる。「EV Insite net」はサーバーの仮想化、クラウドサーバーの活用はもち

ろんのこと、複数サーバーの統合管理、VNA、施設間・自宅・読影会社での遠隔読影など、施設の運用に合わせた“コンポーザブル” PACS の提案をしている。PACS の運用について悩んでいる方は一度 PSP ブースまで足を運んでほしい。

- レポート作成ソフトウェア
「EV Report」

近年、所見レポートの確認漏れが問題となっているが「EV Report」では、確認漏れを少しでも防止するために、「未読管理機能」を搭載。所見作成者やシステム管理者はいつ、だれが所見を閲覧したか、していないかをシステム上で確認することができ、閲覧をしていないユーザーに対して注意喚起をすることが可能である。また、閲覧者に対しても所見確認漏れを減らすたくさんの工夫



EV Insite.net

が施されている。

- 医療機器管理システム
「ARISation iMED」

令和 2 年度診療報酬改定で、「画像診断管理加算 2、3」の施設基準に「MRI 装置の適切な安全管理を行っていること」が基準として追加された。「ARISation iMED」は医療機器の品質と安全確保をサポートするソフトウェアである。各モダリティの始業・就業点検等の日常点検から、定期点検、保守情報、障害対応といったことまで総合的に装置管理が可能だ。